

地価の下落率が2年連続で縮小 (令和6年地価公示和歌山県内結果)

- 平均変動率は、全用途、住宅地、商業地のいずれも平成4年から33年連続の下落である。
- 平均変動率の下落率が、全用途、住宅地、商業地のいずれも縮小した。
- 価格上昇地点が、住宅地は昨年の12地点から20地点、商業地は昨年の12地点から21地点となった。
- 価格上昇地点があるのは、住宅地で12年連続、商業地で11年連続である。
- 和歌山市の商業地の平均変動率が、2年連続で上昇した。

1 全体

- 県内23市町の180地点で、1月1日現在の価格を判定。
- 全用途の平均変動率は $\Delta 0.6\%$ で、平成4年から33年連続の下落である。
- 全用途の下落率は、昨年は $\Delta 1.1\%$ で3年ぶりに縮小に転じ、本年は $\Delta 0.6\%$ で2年連続で縮小した。
- 前年からの継続地点176地点のうち、価格が上昇した地点は42地点、横ばいの地点は21地点、下落した地点は113地点となっている。

区 分	用 途	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
上昇地点数	住宅地	13	12	4	5	12	20
	商業地	18	18	1	2	12	21
	全用途	31	30	5	7	25	42
横ばい地点数	住宅地	6	8	14	15	10	12
	商業地	6	9	23	17	9	6
	全用途	13	17	38	34	20	21
下落地点数	住宅地	92	90	95	92	87	79
	商業地	36	33	34	42	39	33
	全用途	132	126	133	137	129	113
継続地点合計	住宅地	111	110	113	112	109	111
	商業地	60	60	58	61	60	60
	全用途	176	173	176	178	174	176
平均変動率(%)	住宅地	$\Delta 1.3$	$\Delta 1.2$	$\Delta 1.3$	$\Delta 1.3$	$\Delta 1.2$	$\Delta 0.7$
	商業地	$\Delta 1.1$	$\Delta 0.9$	$\Delta 1.1$	$\Delta 1.2$	$\Delta 1.0$	$\Delta 0.5$
	全用途	$\Delta 1.2$	$\Delta 1.1$	$\Delta 1.2$	$\Delta 1.2$	$\Delta 1.1$	$\Delta 0.6$

2 用途別

(1) 住宅地

- ・平均変動率は $\Delta 0.7\%$ で、平成4年から33年連続の下落である。
- ・下落率は、昨年の $\Delta 1.2\%$ から $\Delta 0.7\%$ となり、2年連続で縮小となった。
- ・価格上昇地点は、20地点（和歌山市11、海南市1、田辺市2、岩出市1、有田川町1、白浜町1、上富田町2、串本町1）で、価格上昇地点があるのは12年連続である。
- ・価格上昇地点は、和歌山市内の利便性に優れた需要の堅調な地点や津波被害の想定区域外の高台の地点及び区画整理された地域の地点である。
- ・価格横ばい地点は、12地点（和歌山市6、海南市1、紀の川市2、白浜町1、上富田町1、那智勝浦町1）である。
- ・上富田町の平均変動率は 0.4% であり、10年連続で価格が上昇している。

(2) 商業地

- ・平均変動率は $\Delta 0.5\%$ で、平成4年から33年連続の下落である。
- ・下落率は、昨年の $\Delta 1.0\%$ から $\Delta 0.5\%$ となり、2年連続で縮小となった。
- ・価格上昇地点は、和歌山市の21地点で、価格上昇地点があるのは11年連続である。
- ・価格上昇地点は、和歌山市のみで昨年の12地点から21地点に増加した。
- ・価格横ばい地点は、6地点（和歌山市3、橋本市1、岩出市1、白浜町1）である。
- ・和歌山市の平均変動率は、昨年 0.1% で上昇に転じ、本年は 0.7% で2年連続で上昇した。

(3) 工業地

- ・平均変動率は、昨年の $\Delta 0.2\%$ から本年は 0.3% で上昇に転じた。

(4) 参考（平均変動率の全国・近畿内順位）

- ・都道府県別の本県の全国順位（変動率が高い順）は、住宅地が46位（昨年47位）、商業地が38位（昨年43位）である。
- ・近畿地方（2府4県）の中では、住宅地は6位（昨年6位）、商業地は6位（昨年6位）である。

（問い合わせ先）

和歌山県 企画部地域振興局 地域政策課
土地利用・水資源班 田畑・平木
TEL 073-441-2423(直通)